

**製品名: DUSP1 (10C7) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe10202**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	39kDa

**抗原情報**

遺伝子名	DUSP1
別名	HVH1; MKP1; CL100; MKP-1; PTPN10; DUSP1;
遺伝子 ID	1843.0
SwissProt ID	P28562
免疫原	ヒト DUSP1 の合成ペプチド

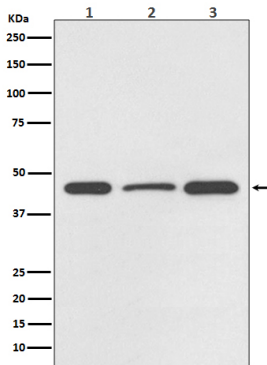
**背景**

DUSP1 遺伝子の発現は、ヒト皮膚線維芽細胞において、酸化ストレス / 熱ストレスおよび成長因子によって誘導されます。この遺伝子は、非受容体型タンパク質チロシンホスファターゼファミリーのメンバーと構造的特徴が類似したタンパク質を特異的に発現し、ワクシニアウイルス後期遺伝子 H1 によってコードされる Tyr/Ser タンパク質ホスファターゼと顕著なアミノ酸配列相同性を有します。この二重特異性ホスファターゼは、MAP キナーゼ MAPK1/ERK2 の「Thr-183」と「Tyr-185」の両方を脱リン酸化することで、減数分裂期の細胞周期におけるその活性を制御します。

## 研究分野

MAPK\_ERK\_成長;MAPK\_G\_タンパク質;

## 画像データ



(1) HeLa 細胞溶解物、(2) NIH/3T3 細胞溶解物、(3) PC-12 細胞溶解物における DUSP1 発現のウエスタンブロット解析。